

突風及び降雹に関する果樹の管理対策について

令和 8 年 5 月 1 日
羽咋農林事務所

春季の強風、降雹・降霰などによる気象災害の軽減を図るため、以下のとおり管理対策を取りまとめましたので、指導の参考として下さい。
最新の気象情報に十分注意し、安全を最優先に対策を徹底して下さい。

風害

【事前対策】

- ① ハウス
 - ・ゆるんだハウスバンドを締め直すなど点検・整備する。特に妻部を中心にパッカー等でビニールをしっかりと固定する。
 - ・パイプの接合部にゆるみがないようしっかりと固定する。
 - ・ハウス内に風が吹き込まないように風上側を閉めるとともに、ハウス内が高温にならないよう風下側を開けて温度調節を行う。
- ② 果樹棚等
 - ・果樹棚は「あおり」による棚面の上下動を少なくすると被害を抑えられるので、架線はできるだけ強く張り直す。
 - ・わい性リンゴの1本支柱では、行、列ともワイヤーで支柱頂部を結線固定する。また、トレリスは張り直す。
 - ・防風ネット等防風施設を点検し、必要に応じて補強する。
- ③ 樹体管理
 - ・枝幹等が架線にしっかりと固定されているか点検する。
 - ・開花期にある樹種では、以下の点に注意する。
 - ハウス「デラウェア」では、過去にハウスビニールが破損したため樹が強風を受け、花振いが発生した例があることから、ハウスビニールが破損した場合はGA処理液にフルメット液剤2～3ppmを混用する。
 - ・樹体の損傷部や接木部分(実施後1～3年)などは添え木を当てて固定する。

【事後対策】

- ・倒伏樹は、速やかに起こし支柱で固定する。
- ・枝裂けは、状態に応じて障害部を削り取り、殺菌塗布剤で処理する。
- ・果樹棚、支柱は、架線の張り替えなどの補修を早急に行う。
- ・葉や新梢が傷ついた場合は、速やかに殺菌剤を散布する。

降雹・降霰害

【事前対策】

- ・強風を伴うことが多いので、上記「風害」の対策を行う。

【事後対策】

- ・葉や新梢が傷ついた場合は、病害の2次発生防止のため、防除を行う。
- ・樹体の損傷が著しい場合は、被害程度に応じて着果量を調節する。